

フレキ継手の改良開発

■開発の目的

- 差込不足による漏洩を撲滅するための対策としてインジケータ機能を付加することで、より信頼性を向上させること
- スプリングによりシール性能を向上させることで、扁平等による漏洩を低減するとともに長期気密性を向上させること

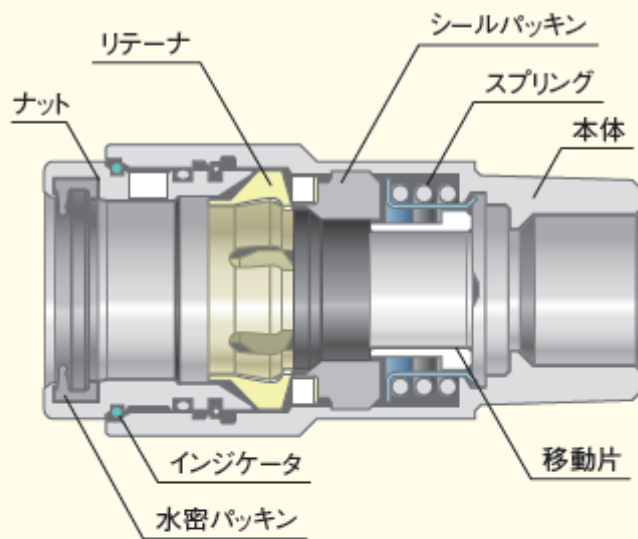
特長

1. 施工工程が簡素化

管を継手に挿入するとリテーナがロックされます。これにより従来必要だったナット押しが不要となり、狭い場所での施工が容易になります。

2. フェイルセーフ機能により施工完了を確認

挿入後に管を引っ張り、インジケータが現れれば、正常な施工完了のしるしです。
※スプリングが作動し、リテーナがロックされる適正な位置まで管が押し込まれないと、管は引き抜けてきます。



<継手の構造図>

3. 高い長期シール性能を実現

挿入した管とシールパッキンは、スプリングがシールパッキンを押し続けることにより面圧が維持されるため、高い長期シール性能を実現します。

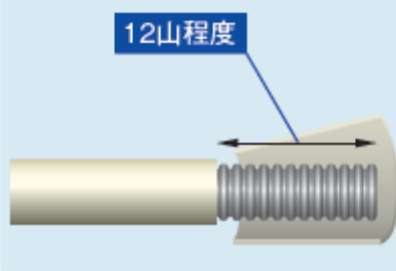
4. 施工性が向上

- スプリング作動時の手ごたえ(音や感触)により挿入完了を確認することができます。
- 施工後、管を切断することなく継手を取り外すことができるため、フレキ管の再使用が可能になります。(継手の再使用はできません)

施工手順

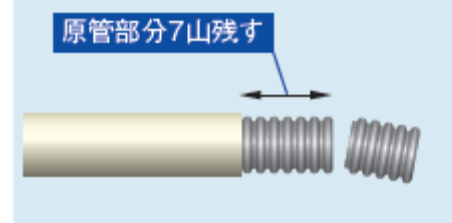
1 被覆の剥離

被覆を12山程度剥離します。



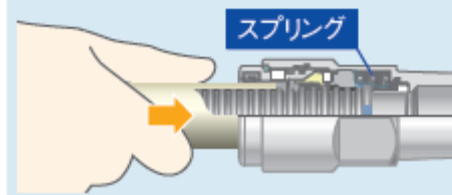
2 原管の切断

原管を7山*残して谷部を切断します。
*山数は従来品と同じです。
6山も施工可能です。



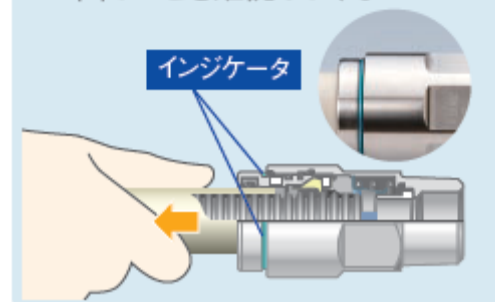
3 管の挿入

継手の奥に突きあたるまで管を挿入します。
スプリングが作動する音、感触で管が適正な位置まで挿入されたことを確認します。



4 管の挿入確認

管をまっすぐ引っ張り、管が抜けないこと、および、インジケータが出ることを確認します。



■製作範囲 (2010年4月より順時商品化)

品 種	片ねじソケット	両メカソケット	片ねじエルボ	分岐チーズ			増設分岐継手
サイズ	8A(1/2)	10A	10A(1/2)	10A×8A×8A	20A×10A×10A	25A×25A×10A	10A
	10A(1/2)	15A	15A(1/2)	10A×10A×8A	20A×10A×20A	25A×20A×20A	
	15A(1/2)	20A		10A×10A×10A	20A×15A×10A	25A×25A×20A	サテライトチーズ
	20A(1/2)	25A		10A×10A×15A	20A×15A×15A	15A×15A×1/2	10A×10A
	20A(3/4)	20A×1/2		15A×10A×10A	20A×20A×10A	20A×15A×1/2	
	20A(1)	25A×20A		15A×10A×15A	20A×20A×15A	20A×20A×1/2	
	25A(3/4)			15A×15A×10A	20A×20A×20A	25A×25A×1/2	
	25A(1)			15A×15A×15A	25A×20A×10A	25A×25A×3/4	